

第20回
全国中学生創造ものづくり教育フェア
in かながわ

募集要項

令和元年11月2日(土)

横浜市立 港中学校

主催
共催
後援

現在各方面に申請中です。

協賛

【関東大会・全国大会の期日・会場について】

〈関東大会〉

令和元年12月1日(日)

長野市立篠ノ井西中学校

〈全国大会〉

令和2年1月25日(土)

足立区立第9中学校：ロボットコンテスト

足立区立梅島小学校：生徒作品、木工チャレンジ アイデアバッグ

足立区梅田地域学習センター：パソコン入力

女子栄養大学 駒込キャンパス：おべんとうコンクール

※全部門の全国大会が実施されます。

令和2年1月26日(日)

東京芸術センター 天空劇場：全体閉会式、表彰

I 開催の趣旨

二十一世紀におけるI T（情報技術）革命、宇宙科学の進歩、地球環境の改善など新たな世紀の世界については、いろいろな未来像が語られている。この事の取り組みを一つとってみても、日本の国力を考えると、日本の科学技術の開発力は世界第一級の水準にあり、日本には世界に誇れる技術力（ものづくりの力）があることも確かである。

しかしながら、わが国の若者達は「科学技術離れ」「ものづくりの体験の不足」やそれらに対する「無関心の増加」などの現象が教育的な課題になっている。この課題を早急に解決していかなければ二十一世紀の世界の激しい国家間競争の時代に、日本が打ち勝つことはできないのではないだろうか。

この状況の中で、「ものづくり基盤技術振興基本法」が国是として法案化され、基本計画が制定された。この基本計画は、日本が持っている本来の技術力をより一層高め、高度な技術者の育成する「ものづくり教育」の充実・発展を進める具体的な日本の施策である。

このことにより、「ものづくりに関する学習」があらゆる教育の場で取り込まれることになったが「ものづくり教育」の学習体系として一貫して進めている教科教育は、中学校における技術・家庭科だけが現実である。

私ども技術・家庭科は、教科発足以来40年間、その時代の社会の変化に適応する人材育成のために「ものづくり ひとづくり くにづくり」を教育の理念として実践を進めてきた。具体的な学習では、本物を対象として「ものづくり」の実践的・体験的な学習を通し、自ら工夫する能力と創造性を発揮し、生活の自立を図る「ひとづくり」に取り組んでいる。まさに、この教科教育理念や具体的な実践は、世界に通用する日本人の基本的な資質（くにづくり）を育成する教育であり、ものづくり基本法の精神に則った「ものづくり学習」だと受け止めている。

そこで、神奈川県公立中学校教育研究会技術・家庭科研究部会では、全日本中学校技術・家庭科研究会主催の「全国中学生創造ものづくり教育フェア」の取り組みを、昨年度に引き続いて、神奈川県内における「ものづくり学習」を実践している生徒達の教育的成果の発表の場と位置づけ、その競技会の実施を通じて、本教科の「ものづくり ひとづくり くにづくり」の教育理念を県民や小・中学生に理解していただくとともに、これからの「ものづくり教育」の発展・充実のために神奈川県・神奈川県教育委員会・（社）全国中学校産業教育教材振興協会等ものづくり教育にかかわる機関の後援（予定）により次のような目的を持った”全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわ”を開催するものである。

- 1：県内の中学生が競技会や作品展を通して、「ものづくり学習」の成果を発表し表彰することにより、ものを創る喜びを味わう機会とするとともに、「ものづくり」への関心・意欲を高揚させる。
- 2：県民に広く「ものづくり教育」の重要性と、「ものづくり教育」によって培われた創造的な技能や生活への実践的態度を認識していただき、啓発をはかる。
- 3：「ものづくり教育」の充実と発展のために中学生やものづくり教育関係者等の研修を深める。
- 4：県内の中学生の「技術・家庭科」の学習状況を把握し、学習の成果を把握する。

II 会場について

横浜市立港中学校

〒：231-0023

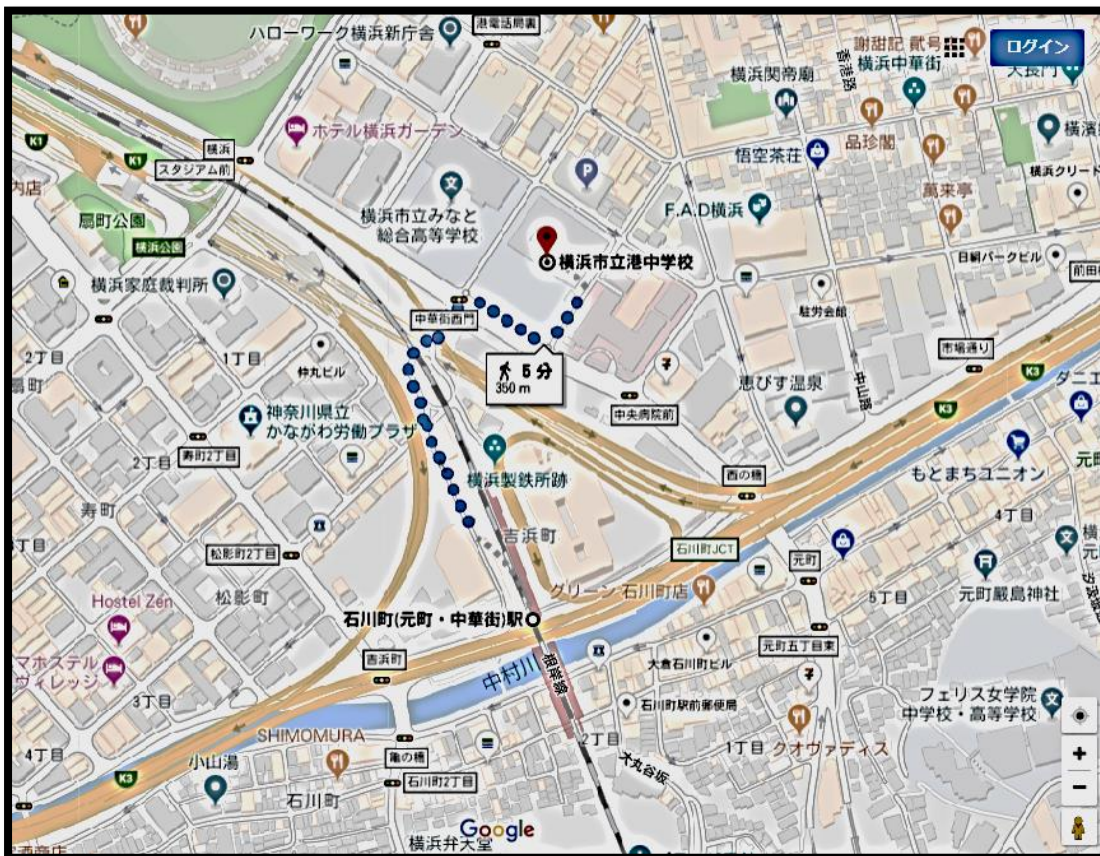
住所：横浜市中区山下町 241

交通：電車 JR 京浜東北・根岸線 石川町駅北口下車徒歩5分
みなとみらい線 元町・中華街駅下車徒歩10分

バス 市営バス 吉浜橋下車徒歩1分

電話：045-681-3618

会場周辺地図



※google マップより引用

校舎の様子



Ⅲ 実施要項

(1) 生徒作品コンクール部門

申し込み9月6日(金)締め切り

<出品作品の条件>

- 大きさは縦+横+高さ=160cm以下
- 重量 25kg以下
- I部門は製作費が5000円以下のもの

注意 *よく読んでご確認ください。

- ・家庭分野の衣類に関しても1着の重さは、作品規定を超えてはならない。
- ・家庭分野の作品で、折りたためて郵送できる大型作品については900mm×1500mmを超えてはならない。縦・横はどちらでもよい。ただし、衣類(シャツ・浴衣・ドレスなど)は別扱いとする。
- ・規格外のものは審査の対象外とする。
- ・著作権、知的財産権に配慮をした作品であること。
- ・展示スペースの関係により、審査資料以外の補足説明の資料(解説・説明書など)を添付する場合はA3までの大きさの用紙1枚以内か、A4サイズのファイルとする。

<応募作品の部門>

I部門(授業内製作作品)

技術分野・家庭分野共に総製作時間(設計・製作を含む)数の内、80%以上の時間が教科の授業中に創造製作した作品部門(総合的な学習の時間、放課後の活動、部活動、休み時間等は教科の授業中の製作活動とみなさない)。必修授業で製作した作品のみをI部門とする。

II部門(自主製作作品)

技術分野・家庭科分野共に、技術・家庭科で学習した知識や技術を生かして製作した創造作品で、I部門(授業内製作作品)に該当しない部門(総合的な学習の時間、長期休業や放課後の活動、休み時間等で製作したもの)。

<出品について>

直接担当まで申し込みをお願いします。

各校につき技術・家庭分野ともに、それぞれI・II部門あわせて10点までの出品とさせていただきます。生徒たちの技能、創造性が十分に生かされた作品の出品をお願いいたします。

9月6日(金)までに必要書類をお送りください。

*毎年、輪番で担当地区から作品を出品していただいています。ご協力ありがとうございます。今年度の地区からの出展は見合わせたいと思います。

<作品及び書類の提出について>

提出手順について

1. 提出書類（作品申込書、生徒作品審査資料、応諾書、県作品調査票）の4点を
9月6日（金）までに茅ヶ崎市立浜須賀中学校へ郵送してください。
2. 作品を所定の期日までに提出。生徒作品票を貼り付けてください。
*生徒作品票は準備でき次第、県技家研のページに掲載します。
3. 郵送する場合、箱には学校名を明記し、作品の写真（形式問わず）を貼り付けてください。

提出書類

- ①作品申込書（準備でき次第、県技家研のページに掲載）
 - ②生徒作品審査資料（A4サイズを基本、全日中技家研のページに掲載予定）
 - ③応諾書（全国と共通の書式→全日中技家研のページに掲載）
 - ④県作品調査票（県独自のものです。準備でき次第、県技家研のページに掲載）
- *ページが見られない方は、下の問い合わせ先のメールアドレスにメールをいただけたら、書類の方を送りますので、ご連絡ください。

○作品搬入について

直接搬入する場合は、11月1日（金）15：30～16：00に会場校へお願いします。
事前に郵送する場合は10月18日～25日の間に茅ヶ崎市立浜須賀中学校へお送りください。
（費用自己負担）直接持参も可能です。
*郵送の場合は、破損などがおこらないように貴重品扱いで郵送してください。

○作品搬出について

11月2日（土）16：00～会場より各学校で責任を持ち搬出してください。
搬出の際、取り違えがないように担当と確認をしますのご協力よろしくお願いたします。
直接お持ち帰りになれない場合は、①同地区の先生に願います。（担当との受け渡しを確実に願います）②着払いなどでの送付。（ヤマト着払い伝票を記入し搬入時に作品に同封）
*使用した段ボールなどは確実に持ち帰ってください。

*入賞した作品は、全国フェアなどへの出品があります。
（技術Ⅰ部門3点・Ⅱ部門2点、家庭Ⅰ部門3点、Ⅱ部門2点）

担当者（問い合わせ・書類作品提出先）

〒253-0025 茅ヶ崎市松が丘2-8-54

茅ヶ崎市立浜須賀中学校 教諭 佐久川 仁（県技家研 書記）

TEL 046-785-1262 FAX 046-785-1268

メール koyazi1983@yahoo.co.jp

(2) 木工チャレンジコンテスト

予選…予選では、生活や社会の問題を木工の技術により解決できる作品を構想する。

製作品は以下の条件を満たすものとする。

- ・上記の課題について設計し、3時間30分以内で製作できるものとする。
 - ・使用する材料は集成材(t15×200×900 : 2枚)と合板(t4×450×450 : 1枚)とする。
 - ・製品の大きさは、3辺の合計160cm以内までとする。
- ※材料取りをする際に、縦引きによる切断を含めること。
- ※くぎ(32mm・38mm 等)・酢酸ビニル樹脂系接着剤を使用する。
- ※製作工程において、さしがねによるけがき、両刃のこぎりによる切断、平かんなによる部品加工、くぎ打ちによる組み立て、直角定規等による検査、紙やすりによる仕上げ作業を含むこと。
- ※接合金具は(釘、木ねじ、ボルトナット、ノックダウン金具、補強金具蝶番)のみとする。
〔プラスチック等の使用は出来ません。〕
- ※機械による部品加工は行わない。

以上の条件を満たす作品の構想図(等角図またはキャビネット図)で予選を行う。

なお、この課題は全国大会の作品募集に準ずる課題です。(予選は作品評価による予選は行いません。)

参加申し込みの方法

- ・課題の条件を満たす作品の構想図(A4のケント紙を使用)
 - ・応募所(全日中webページよりダウンロード)を9月6日(金)までに下記の担当者宛にお送りください。
(簡易書留での郵送:参加校負担)
- 審査の結果、本選出場(大会会場での競技)が決定した場合、担当より競技について連絡があります。
(本選の定員は最大16名で、原則として出場は各学校2~3名までです。
ただし応募人数には規定はありません。)

申込先…神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭研究部会
厚木市立小鮎中学校 清水 匠
〒243-0213 厚木市飯山2367
TEL : 046-241-1428 FAX : 046-241-3130

神奈川県大会予選通過者は、令和元年9月27日(金)までに大会事務局より参加校へ連絡する。

作品(構想図)の返却…神奈川県大会出場者は大会当日に返却する。

神奈川県大会…予選通過者最大16名で行う。(ただし原則として1校3名を予選通過の上限とする。)

予選の構想図を作品にする。自分の製作した作品についてのプレゼンテーションを行う。

- 会場準備工具
- さしがね(300×150mm)
 - けびき
 - くぎ抜き
 - げんのう
 - 四つ目ぎり
 - 三つ目ぎり
 - はたがね
 - クランプ
 - 削り台
 - 両刃のこぎり
 - 作業台に付属する万力
 - 平かんな
 - 追入のみ(9mm・15mm)
 - 直角定規
 - 端材
 - 木工用接着剤
 - バケツ
 - 箒
 - ちりとり
 - 雑巾
 - ビニール袋
 - ボール盤【ボルト等の穴あけ用のみ使用可、釘の下穴あけの使用は不可、刃は各自準備】

※ 長さの違う釘が必要な場合は持参し使用することを許可する。

長いさしがねが必要な場合は持参し使用することを許可する。

※ 会場校によって、準備工具が異なることもあります。詳細は参加校にお知らせします。

※ 大会に関する情報は県技・家研ホームページにて確認すること。

・その他連絡事項について

※神奈川県より代表1名を推薦する。〔県フェア(略称)の結果、優秀生徒1名を全国大会に推薦する。〕

※全国大会推薦者の中学校は、応募規定、個人準備、支給材料、会場準備工具などを、

全日中のWebページで要項を確認し中学校側で応募すること。(全日中 web <http://www.ajgika.ne.jp>)

(3) 豊かな生活を創るアイデアバッグ

※作品の条件は、下記全国大会要項に準ずる。

※審査項目等詳細は 全日中web <http://www.ajgika.ne.jp> を参照

<作品の条件>

- ①材料費2 0 0 0 円程度。
- ②課題は『バッグ』とする。
- ③使用する布の合計面積は1 1 0 c m×5 0 ~1 0 0 c mとする。

使用する布は、複数種類使ってもよい。

家庭にある不要なワイシャツ（長そで、半そでどちらでもよい）を活用する。バッグ本体の全部でも、一部でもよい。また、再利用する衣服等についているポケットやボタン等の部分をそのままバッグに利用することも可とする。（ただし、下記⑥⑦の課題について必ず入れるものとする）

※ワイシャツは、古着を利用するように配慮する。（自分もの、家族のもの親せきや地域の人などにも声をかけながら、練習の時も無駄にならないよう配慮する。）

※ワイシャツの生地はどのようなものでも構わない。

- ④『バッグ』は立体構成にする。また、バッグの口がふさがるようにする。
(中身のでない工夫をする)

- ⑤デザインについては、再利用するワイシャツの形状をそのまま利用する部分を1 カ所もうける。
レポートには、シャツのどの部分をどのように活用するか、理由や特徴もしっかりと明記すること。

- ⑥ポケットは必ず『バッグ』本体に付ける。
(ポケットのうち必ず1 つは、ポケット口を三つ折りにし、手でまつり縫いをする)

- ⑦スナップは1 つ以上つける（ボタンを付けることは可能）。

<予選会に必要な書類等について> 9月6日（金）必着とします。

- 参加応諾書・製作レポート

製作レポートは規定の用紙を用いることとし、必ず手書きをして、A3 カラー印刷で提出する。

(<http://www.ajgika.ne.jp>よりダウンロード)

- 各自の作品（バッグ）
- 作品返却用の宅配便着払い伝票

※県フェアにおいては、実際の競技大会は行いません。なお、フェア会場において作品を展示します。
また、関東大会においても競技大会を行わず、審査による選考です。

★担当者（問い合わせ先）

〒252-0154 相模原市緑区長竹1 4 6 9

相模原市立串川中学校 教諭 中瀬 有喜（会計）

TEL 042-784-0639

FAX 042-784-0199

(4) 「あなたのためのおべんとう」コンクール

〈第1次審査〉書類審査（選考結果は大会事務局より連絡）

〈第2次審査〉実際に調理競技を行う

提出されたレポートをもとに選考し、上位12グループが実際の大会で競技を行う

（上位12グループすべてに賞状が出る）

神奈川県大会では光熱費として500円を徴収いたします。ご了承ください。

〈第一次審査に必要な書類について〉 9月6日（金）必着

○参加応募書 ○レポート（枠内に収まるように記入。PC入力推奨、手書きの場合はペン書き）

以上 <http://www.ajgika.ne.jp>よりダウンロード

○審査結果・作品返送用封筒（A4サイズ）宛名を記入し、切手を貼って下さい。

※各校から参加するチーム数は4チームまでとします。また、1チームの構成メンバーは2、3人とし、複数チームへ重複してのエントリーは認められません。

〈作品の条件〉※審査項目等詳細は全日中web <http://www.ajgika.ne.jp> を参照

- ・対象者「あなた」を設定し、食べる季節(旬)や対象者に応じた食事摂取基準、対応する食品群等を意識して分量を決めて調理する。
- ・材料費の目安は、1チーム1人800円×人数分とし、食材（米や調味料も含む）は参加者が準備する。
- ・規定課題「魚を使った料理」を主菜とする。「魚（すり身や干物、缶詰、瓶詰め、冷凍も可。ただし、甲殻類（エビ、イカ、カニ）は魚の仲間としない。」
- ・弁当箱、弁当小物は各自で選ぶ。形、色、サイズ等は自由。
- ・準備30分、競技90分(下ごしらえから片付けを含めて)で弁当製作を行う。調理時間を考慮してチームで役割分担をし、調理する。
- ・本選出場決定チームへは、材料の準備・調理器具の準備等について別途通知する。（本選では、審査試食分を作成する。）
- ・調理で出たゴミは、各グループで持ち帰る。

※ 神奈川県大会を1位通過すると、そのまま全国審査へ進みます。

全国審査を通過すると、全国大会への参加資格を得ます。

〈注意事項〉

- ・2群について、各食品の重量で表記する。（牛乳に換算しない。）
- ・主食が米飯の場合、生米の重量なのか、ご飯（炊飯後）の重量なのかを明記する。
- ・魚を使った料理を主菜にする。

★審査書類送付先・担当者（問い合わせ先）

〒211-0041 川崎市中原区下小田中2-17-1

川崎市立西中原中学校 教諭 荒木 聡子（家庭部長）

Tel: 044-777-2239 Fax: 044-799-3954

(5) 創造アイデアロボットコンテスト

1、目的

- (1) 中学校技術・家庭科で学習した知識や技能を生かし、ロボットの設計・製作を行い、その成果の発表の場とするとともに、知識や技能の向上を図る。
- (2) コンテストは一つの授業の場として、参加者が互いに工夫点や機能性、構造などを学びあえるようにする。また、ものづくりに取り組んできた全国の中学生の交流の場とし、得点至上主義に走らず、発想や製作技能・努力を評価し合う。

2、各部門について

(1) 基礎部門：「BASIC DIVISION 2019」

自陣コートに蒔かれたボールを、得点エリアに入れたり、相手コートにアイテムを運び入れるたりする競技である。1チームは4名まで。競技に参加するのは2名まで。使用するモータは2個まで。

(2) 活用部門：「Lift or drop a block」

アイテム置き場に置かれたブロックを11カ所のゴールに差し込んでいく競技。1チームは4名まで、出場者は操作1名、アシスタント1名。使用するモータは4個まで。

(3) 応用部門：「復興への願い2」

コート中央にばらまかれたアイテムを決められた自陣ゴールに集める競技。1チームは6名まで。競技に参加するのは生徒4名までとし、そのうち2名までを操縦者、2名までをアシスタントとする。使用するモータは6個まで。

(4) 動画部門：各ブロック4チーム（県では審査後、関東へ推薦する）

* 詳しいルールなどは「第20回 全国中学生創造ものづくり教育フェア 創造アイデアロボットコンテスト」用のルールに基づきます。「<http://ajgika.ne.jp/~robo>」を必ずご確認ください。

* 県フェアでは、PRタイムの代わりに、競技終了後ロボットを見せ合う時間を設けます。

3、コート代

1チーム 1,000円

4、申し込みについて

- ・2019年の今大会では運営上の都合により、各校の出場チームを各部門で2チームまでと制限させていただきます。ご了承ください。
- ・参加一覧表と応諾書（県技・家研HP <http://www.gikaken.com/> より）に必要事項を記入の上、郵送でお申し込みください。**9月6日（金）必着**

5、その他

* 当日の運営・審判などについては、申し込みいただいた学校に連絡いたします。

担当者（問い合わせ・申し込み書類提出先）

〒220-0073 横浜市西区岡野2丁目14番1号

横浜市立岡野中学校 教諭 平島 慎一

TEL : 045-311-3210 FAX : 045-311-9968

メール : sh00-hirashima@city.yokohama.jp

(6) パソコン入力コンクール

- 参加資格 中学生であれば、どなたでも参加できます。
- 費用 無料（県技・家研による団体登録とし、参加料の個人負担はなし）
※級・段位の認定書を希望される場合には、有料(1000円+消費税)にて発行
します（後日郵送）。
- 競技部門 第5部：和文A中学生 （競技時間5分）

※第5部：和文中学生の部の1～3位入賞者には、ものづくり教育フェアの全国大会への出場資格が
与えられます。

- 形式 大会当日にエントリーを行い、競技を行います。

- ① 会場受付にて、申込書を記載します。ここで受験票が交付されます。
この受験票は再チャレンジに必要ですので、紛失にご注意下さい。
※認定書の希望がある人は、現金を会場受付で支払ってください。
- ② 受付が終わったら室内に入り、スタッフの指示に従い、席に着きます。
基本情報を入力し、練習をはじめてください。
- ③ 練習は何度行ってもかまいません。練習が済んだら、競技に参加します。
初期画面で大会参加を選択し、受験票の番号と名前を入力し、競技を開始してください。
- ④ 競技を終了しても、再チャレンジを行うことは可能です。ただし、ランキングに残るのは最後に
チャレンジした記録のみです。
※2回目に競技を行った場合、1回目の記録は消えてしまいますので、ご注意ください。
※再チャレンジは何度でもできますが、会場の混雑度によってはお断りすることがあります。
- ⑤ ランキングは3回に分けて表示する予定ですが、最終的なランキングは15：30に発表
します。（発表方法については、後日お知らせします。）

- 競技の詳しい内容については毎日パソコン入力コンクールHP（<http://www.maipaso.net/>）をご覧ください。

★担当者（問い合わせ先）

〒210-0806

神奈川県川崎市川崎区中島3-3-1

川崎市立川崎高等学校附属中学校

教諭 藤澤 泰行（県技家研）

TEL 044-246-7861